

「やってみよう」が未来をつくる～Be the First Penguin!～

熊本高专だより

KUMAMOTO KOSEN

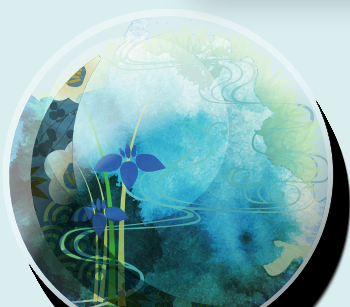
No. 41

2026.8

夏号

SUMMER

今号のテーマ 新入生を迎えて



Contents

- | | | |
|------------|-----------|------------------|
| 01 巻頭のことば | 10 学生たちから | 15 新年度を迎えて |
| 03 新入生を迎えて | 12 特集 | 17 諸だより |
| 05 新入生から | 13 人事異動 | 18 News & Topics |



新年度を迎えて

校長 林 健司

令和8年度の入学式は熊本県立劇場にて挙行され、多くの保護者の皆様にも列席いただき、熊本高専は新入生と編入生を迎えることができました。今年度より新しく校長として着任した私も、いわば新入生と同じ気持ちで新しい年度を教職員一同と緊張の中で開始することができました。

高専の特徴は5年一貫教育にあり、それは高等学校・大学の3年制・4年制とは異なる時間スケールの中で行われます。いわゆる大学受験を一つのゴールとした知識偏重型で実技を伴わない高校教育とは異なり、実習や課題解決型の教育内容に基づく高専教育は、実践力を持った高度技術者の養成を目標としています。一方で、多くの課外活動があり、

学んだ内容を実地に確認しながら進むことを推奨しています。さらに、高専には長い夏季休暇と春季休暇があることや、寮生が学内で生活している点も特徴として挙げることができます。このように独自の空間と時間スケールの中で学生たちは学び、多様な経験を重ねながら成長していきます。

さて、昨今、高専教育への高い評価と多くの期待を目にする機会が増えました。公立高専が新設される機運も高専教育への期待の顕れの一つです。今後、日本が国際社会の中で競争力を維持していくためには、理工系人材の大幅な増員が必要となります。熊本で著しく発展している半導体産業を支えるには、多数の専門家の養成が必須です。そこで求められるのは高度な装置を操る単なるオペレーターではなく、高い技術と理工系の知識を有した人材です。例えば、発生し続ける問題を解決する力を持っていたり、背景に存在する重要な問題を発見できたり、新しい価値を創造できたりする能力です。そこでは技術や技能に留まらず、背景にある原理や理論まで掘り下げ、理解する力が不可欠です。

中等教育以降の理科離れへの懸念が叫ばれ久しいですが、高専生は理科離れとは対照的に、理工系の専門家となる未来を15歳で選択した学生たちです。その進路が決して容易でないことは、高専出身であることを誇りとする多くの卒業生が語ることもあります。高専は多様性を尊びます。様々な課外活動を推奨しますし、高専大会などスポーツでの活躍も評価します。個々の学生の性格や習熟のペース、課題への取り組み方は異なりますが、そのような多様な個性こそが理工系技術者には求められます。人が作り出す技術の最適解は唯一ではないからです。このように、高専教育は理論の上に立つ実習や課題解決を重視しており、多様な能力の養成に5年という年月が必要となります。その長い教育期間を、飽きることなく、弛むことなく、卒業に向けて新入生も在学生も進んでほしいと願っています。

最後となりますが、学校教育には保護者の皆様や地域の方、企業の方からのご支援が欠かせません。皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新入生を迎えて

熊本キャンパス奨学後援会 会長 長 生 修



新入生、留学生、専攻科生の皆さん、熊本高専へようこそ！そろそろ高専での生活に慣れて、新しい友人たちと、充実したキャンパスライフをお過ごしではないでしょうか？在校生の皆さんも、それぞれの学年で、学業に励み、様々なことにチャレンジされていることと思います。

さて、先日こんなニュースを拝見しました。『慶應義塾大学、高専卒業者を対象に「3年編入学試験」新設。2027年春に試験を実施し、2028年4月に入学で、高専で培った専門性を広い社会文脈の中で開かれた学びへ再構築する機会を提供する』とのこと。皆さんの卒業後の将来は、様々なチャンスがあります。高専卒業後の就職、専攻科・大学学部への進学、そしてその後の就職、大学院進学など。そのためには、日々の授業、部活や電波祭などでの活動、先輩・後輩・同級生とのコミュニケーション、先生方との交流を大切にしてください。

会長の役をお預かりして2年目です。奨学後援会は、学生の学びや学校生活をサポートし、夢に向かって進むことを応援していきます。保護者の皆様、ご一緒に応援していきましょう。奨学後援会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。

新入生を迎えて

八代キャンパス後援会 会長 山 崎 英 和



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。熊本高専八代キャンパスへの入学を心よりお祝い申し上げます。4月に入学された皆さんもそろそろ高専生活にも慣れてきたころではないでしょうか。多くの仲間や先生方との出会いを通じて、充実した高専生ライフを送られることを願っています。

高専は専門的な知識や技術を学ぶ場であると同時に、人として大きく成長する場でもあります。授業や実験、部活動、学校行事など、さまざまな経験に積極的に挑戦してください。失敗を恐れず、自ら考え行動する姿勢を大切にして頑張ってください。

また、同級生や先輩、先生方とのつながりは、将来にわたる大切な財産になります。ぜひ多くの人との交流を楽しみながら、自分らしい高専生活を築いてください。

保護者の皆様におかれましては、お子様の新たな門出を心よりお祝い申し上げます。高専の5年間は、子どもたちが大きく成長する貴重な時期です。後援会といたしましても、学校と連携しながら学生たちを支えてまいります。今後とも後援会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

何にでも挑戦できる自由な校風

教務主事（熊本キャンパス） 柴 里 弘 毅

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。熊本高専へようこそ。この記事が皆さんの手元に届く頃には、期末試験も終わり、高専での生活にも少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。そこで、あらためて4月の新入生研修でお話したことを振り返りたいと思います。私が皆さんに伝えたかったのは、次の3つです。

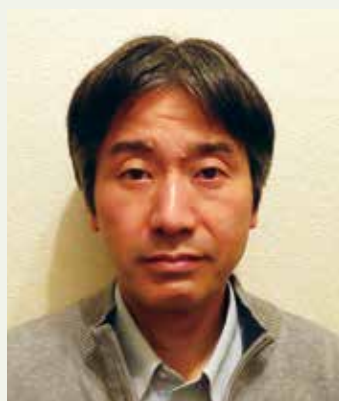
- ①夢中になれるものを見つける
- ②将来をイメージして、行動に移す
- ③レジリエンスを身につける

高専生活を楽しく有意義に過ごせるよう、まず、自分が夢中になれるものを見つけることが大切です。そのためにも、さまざまなことに挑戦してほしいと思います。熊本高専は、よく「自由な校風」と言われます。確かに自由ではありますが、その自由は、自分本位に振る舞ってよいという意味ではありません。本校は「何にでも挑戦できる」自由な校風です。勉学に励むのはもちろん、ロボコン、プロコン、部活動、学生会活動など、さまざまな活動に積極的に取り組んでほしいと思います。その中で、自分が夢中になれるものを見つけ、深く掘り下げていってください。

一生懸命取り組めば、努力が実を結ぶ喜びを味わうこともあれば、思うような結果が出ずに悔しい思いをすることもあるでしょう。しかし、うまくいかなかった経験もまた、皆さんを成長させる大切な機会です。いわゆる「失敗」は、挑戦したからこそ得られる経験であり、決して無駄にはなりません。失敗を恐れずに、一步を踏み出してください。皆さんの挑戦が、高専生活をより豊かで実りあるものにしてくれることを願っています。

挑戦と成長の5年間を過ごす皆さんへ

学生主事（八代キャンパス） 東 田 洋 次



新入生の皆さん、本校に入学して数か月が経ちましたが、学校生活には慣れてきましたか。新入生研修、球技大会、高校総体、高専体育大会など、さまざまな行事に参加し、熊本高専での学校生活を楽しまれているでしょうか。この夏号が発行される頃には前期期末試験も終わっていると思いますが、勉強にも前向きに取り組んでいますか。思い描いていた高専生活を過ごせていますか。

本校は普通高校に比べると規則等による制限が少ないと言えますが、その分、自らの言動に責任を持ち、自律した学生であることが求められます。皆さんが成長できるよう、必要に応じて厳しい指導を行うこともあります。自由には責任が伴うことを忘れず、人と

して大きく成長できる5年間にしてください。

また、熊本高専には自由に使える時間や施設が整っています。部活動、コンテスト、旅行、留学など、積極的にチャレンジしてください。1人ではできないことも、一緒に挑戦してくれる仲間がいます。1つのキャンパスにとどまらず、全国には多くの高専生がいます。閉じた世界にとどまらず、広い視野を持って仲間をつくり、高専生活を存分に楽しんでください。

新生を迎えて

寮務主事（熊本キャンパス） 堀 本 博

ご入学おめでとうございます。

この便りが届く頃には、夏休みに入っていることと思います。寮で半年間生活してきましたが、新しい環境には慣れたでしょうか。また、学校での勉学や課外活動など、充実した高専生活をおくれましたか。

寮生活では、同級生との交流だけでなく、上級生との関わりも大きな財産となります。学年を越えて互いに信頼し、支え合える関係を築いてください。また、多くの人とのつながりを広げ、互いの違いや考え方を認め合うことで、視野を広げていってほしいと思っています。

後期には学園祭をはじめ、多くの行事が予定されています。次々と新しい出来事が続き、慌ただしい日々になると思いますが、勉学との両立を図りながら、さまざまな活動に積極的に挑戦してみてください。

夏休みには心身ともにリフレッシュし、元気な姿で寮に戻ってくることを、楽しみにしています。（写真は7月9日に開催された寮祭より）



地域連携、STEAM教育、研究・教育活動、国際交流

総務主事（八代キャンパス） 田 中 裕 一



総務主事は、地域との連携、研究の推進及び国際交流に関することを掌理する役です。本校の代表的なものをいくつか紹介します。

地域連携では、「KNIT Student Project Showcase（学生活動発表会）」、熊本県工業連合会と主催する「新・閃きイノベーション」、県内企業との長期インターンシップ等があり、周辺地域、自治体や企業との連携も年々進んでいます。

STEAM教育では、グランメッセ熊本で開催される「青少年のための科学の祭典」、「八代こども科学フェア」、JR熊本駅前で実施する「わいわい工作わくわく実験ひろば in アミュ」等での出展や「熊本高専ハカセ塾」等、数多く実施しています。

研究・教育活動では、高専で取り組んでいる「半導体人材育成事業」の拠点校として、企業、大学との協働教育を実施しています。「介護医工分野の支援技術（Assistive Technology）」にも取り組んでおり、各学科の特色を活かした活動を実施しています。

国際交流では、「2年生台湾研修旅行」、「日タイ高校生サイエンスフェア」、各学科の海外研修旅行、語学留学や研修等の受け入れ機関がある留学等、実績も豊富です。

皆さん、積極的に参加してください。

熊本高専に入学して



機械知能システム工学科1年 大中 真之

熊本高専八代キャンパスに入学し2か月生活し、テストやボランティアを経験しました。

新入生には知り合いが1人もいない中、入学式で隣の席になった人と友達になり、勉強を教え合う仲にまでなりました。テスト前には大人数で分からないところを教えあい、課題の有無を確認し、たまには休憩でコンビニに買い物に行ったりしました。授業は進みが早く難しいけれど、しっかりと予習復習を欠かさず行えばついていけると思います。

高専ではTeamsという連絡アプリで色々なボランティアや技術系のイベントなどの案内がたくさんまわってきます。絶対に高校では経験できない様なイベントがたくさんあります。早いうちに技術を磨けるだけでなく、たくさんの経験が積みそうです。また、高専の輪だけではなく、外部の人とも関わる機会が多く、市のイベントや技術系イベントの開発支援金の案内などもあります。

僕はこれから、得ることができた素敵な環境を活かし、たくさんの経験を積んで、もっと成長していきます。

熊本高専に入学して



電子情報通信工学科（1年1組）永清 陽士

僕は、熊本高専の近くにある楓の森中学校から今年入学してきました。そのため、熊本高専をそこから見るのがよくあり、そんな学校に行けることになりすごくワクワクしていました。初めて、学校に登校した時は、どんな人がいるのだろうか、少し緊張していました。みんな、科学オタクみたいな人で近寄りにくいのかなと思っていました。しかし、癖が強いけど面白い人がたくさんで科学オタクみたいな人も普通に仲良くなってくれてうれしかったです。

クラスマッチでは、みんなの新しい一面を知ることができました。負けたのは普通に悔しかったです。

そして、これからどんどん勉強も専門的になり難しくなると思いますが友達と協力して成長し、自分の好きなことややりたいことをとことん頑張っていきたいです。

高専に入学して



建築社会デザイン工学科1年 勇 虎太郎

高専に入学した当初は学校生活に慣れるかどうか不安でしたが、先輩方や先生方のおかげもあり、今ではすっかり慣れることができました。

5月初旬に行われた球技大会では、チーム決めに多少時間はかかったものの、無事に本番を迎えることができました。本番ではクラス全員で力を合わせ、ドッジボールで準優勝という結果を残すことができました。この大会のおかげでクラスメイトとすぐに打ち解けることができ、入学早々良い思い出になりました。

最近が高専で初めての中間試験がありました。試験期間中は友達と図書室の学習ルームを借りて勉強に励みました。返ってきた結果を見て自分の勉強不足を痛感するものもありましたが、これからの勉強に対して一層やる気が増してきました。

これからも新しい経験をする機会がたくさんあると思います。

特に私は部活動に所属しているため、今後は高専大会などの目標に向け、部活と勉強の両立をはじめとする多くのことに全力で励んでいきたいです。

高専に入学して



知能制御情報工学科（1年2組） 田島 史野

高専に入学してあっという間に2か月が経ちました。そして、前期中間試験も無事に終えて、慣れない新生活にも少しずつ慣れ、高専での学校生活が当たり前の生活に変わりつつあるのを感じています。生活に慣れることができたのは、個性的で親しみやすい2組のみんなのおかげだと思っています。

初めての行事のクラスマッチでは、高学年を相手に各競技それぞれ団結し、最後まで諦めずに精一杯がんばりました。このクラスマッチを通して、2組の仲はさらに深まりました。そしてクラスマッチが終わると、前期中間試験が近づいてきました。高専は中学校に比べて、授業の進みも早く、内容も難しいので、必死に勉強しました。

特に難しかったのは専門科目で、友達同士で教え合いながら、理解を深めました。これから5年間、高専で仲間と高めあい、自分の目標に向かって力を身につけていきたいです。

熊本高専に入学して



生物化学システム工学科1年 明 阪 美 咲

熊本高専に入学して、2か月ほどが経過しました。学校にも少しずつ慣れ、入学初日のときにあった不安などは嘘のようです。クラスの雰囲気も明るく、馴染めるまでにそう時間はかかりませんでした。特に、球技大会では、クラスの仲が深まった気がしました。各競技に一生懸命取り組み、作戦を練りました。また、競技中だけでなく、応援することも頑張っていました。結果的には負けてしまいましたが、とても良い思い出となりました。

授業は少し難しく感じることもあります。しかし、昼休みや放課後に、友達や先生方に聞きに行くことで、勉強についていけるように日々、努力しています。また、私は小学生の時から卓球をしており、高専では迷うことなく卓球部に入部しました。自分の課題と向き合いながら練習しています。優しい先輩方のおかげで、楽しく活動することができています。

これからの高専生活がより良いものとなるように、私は何事にも挑戦して、諦めないことを目標としました。何事にも挑戦しやすい環境であるからこそ、その恵まれた環境を十分に活用していこうと思いました。5年間の高専生活を通して、自分が成長できるように頑張っていこうと思います。

これからを大切に



情報工学科（1年3組）洲 崎 希

熊本高専に入学して、2か月が経ちました。友達、部活や寮の先輩と話す機会も増え、充実した日々を送っています。私は県外出身のため、一人ぼっちにならないかととても緊張しましたが、皆が優しく話しかけてくれて、いろんな友達と一緒に勉強も部活も頑張っています。入学前の自分では想像もできませんでした。今の私は高専生活を楽しんでいます。

入学後、特に衝撃を受けたことは、授業スピードの速さです。90分の授業時間は、50分授業を2回しているような感覚で、1回の授業内容が2倍になり、テスト範囲も格段に増えます。共通科目に加えて専門科目の勉強もあり、テスト前は慌ただしい日々を過ごしました。テスト期間中は友達と助け合って勉強したり、教員室に伺ってわからない問題を質問したりしました。授業が進むにつれ、内容も難しくなっていくと思います。そんなときでも、自分から周りの友達や先生に教えてもらったりして食らいついでいきたいです。学習面で私が掲げる「期限内のレポート提出遵守と確実な単位取得」という目標の実現に向け、人に頼るばかりではなく「自分から」行動し、自分に還元できる5年間を送れるように努力していきたいです。

専攻科での学校生活と今後の展望



生産システム工学専攻1年 松本 心

専攻科に入学して2か月程が経ちましたが、日々の授業や課題の多さに驚いています。本科5年次は卒業研究に多くの時間を充てられていたため、そう感じているのかもしれませんが。本科に入学したばかりの頃を思い出しつつも、より高度な専門知識を学べる環境に身を置いていることを実感し、これまで以上に計画性を意識するようになりました。

私は現在、農業用ロボットのシステム開発をテーマに研究を進めています。ユーザーの求める機能を実現するため、設計段階での要件整理から、実装・動作検証まで一連の工程を経験する事を目標としています。この研究を通して、ロボットの開発に必要な設計力と開発力を高めたいと考えています。また、研究以外でも自身の専門性を広げるため、関連する資格取得にも挑戦しています。

一方で、学業だけでなく心身のバランスを保つ事も大切だと感じています。私は部活動で楽器を演奏しており、この時間が良いリフレッシュになっています。忙しい日々の中でも音楽に触れることで気持ちが切り替わり、学習や研究に向き合う活力になっています。

専攻科の2年間は決して長くはありませんが、その分だけ密度の高い学びが得られる期間だと感じています。いかに将来を見据え、自分の強みを明確にしながら、限られた時間を過ごすかが、今後の学生生活の鍵になると思います。時には一息つきつつ、後悔のない2年間にしていきたいです。



専攻科に入学して



電子情報システム工学専攻1年 谷川 晴基

私は九大連携プログラムに進学し、今年度も本科と同じ熊本高専で勉学に励んでいます。学ぶ場所は同じですが生活は大きく変化しました。明和寮で常に周りに友達や先生方がいた5年間から一転、春から一人暮らしを始めました。全てを一人で管理する中で、作り置きのおかずが常温保存で腐って納豆の匂いがしたり、ゴールデンウィークに鍵を実家に置き忘れて帰ってくるなど、自分の生活力の無さを痛感しています。それと同時に、これまでの家族や友達、先生方の支えに改めて感謝しているところです。

研究では、今年度から外部の整形外科と連携し、小児の大腿骨の病気に関するテーマに取り組んでいます。本科の研究とは分野もスケールも大きく異なるため、「病気の子どものため」「医療の発展のため」というような大きな責任感が芽生えてきました。また、1年間の企業インターンや、台湾成功大学での半導体サマースクールなどにも挑戦する予定です。将来くいっぱぐれず、まっとうに生きていけるよう、技術力やコミュニケーション力をさらに高めていきたいと考えています。楽しいことばかりではなく辛いこともあるかもしれませんが、「将来就職して、稼いで、いい家庭を持つ」という夢のための“我慢の年”だと思って学生生活に励んでいきます。

最後に、最大7年もみんなといれることが最高に幸せです。みんなのことが超大好きです。これからたくさんみんなでしょうもないことで笑っていこう！

熊本高専（八代キャンパス）に留学して



建築社会デザイン工学科3年 ミイン ミエ ザニ セパイ

初めまして。ミャンマーから来たザニです。高専に来る前に日本語学校で1年間勉強してきたので、日本語についてはあまり心配していませんでした。

高専に来る前は、「高専で友達ができるかな、先生たちが優しくなかったらどうしよう」と心配していました。

でも、実際は思っていたのと違って、クラスメイトも先生方もみんな驚くほど優しいです。まるで家族と一緒に暮らしているように感じます。

留学生の先輩たちも面白くて、兄弟のように僕のことを見守ってくれています。

そのおかげで、困ることもなく楽しい高専生活を送っています。

これからの3年間で、いろいろな人と交流し、自分の国について紹介する機会があることを楽しみにしています。

熊本高専に入学して



情報通信エレクトロニクス工学科3年 アンカン

今年の4月に熊本高専に入学しました。日本に来たばかりの頃は言葉や生活の面で不安もありました。新しい学校だけでなく、学科も新しいです。先生方やクラスメイトが親切にサポートしてくれるおかげで、新しい生活に慣れることができました。

高専の授業は専門的で非常に面白いです。毎日多くの新しいことを学んでいます。また、日本語の勉強や日本の文化に触れることも日々の楽しみの一つです。

これからは、日々の授業や課題に一生懸命取り組み、専門知識と技術をしっかりと身につけたいです。そして、多くの仲間と交流しながら、この素晴らしい環境で

充実した留学生生活を過ごしていきたいです。

熊本高専に編入学して



制御情報システム工学科4年 片岡 昇大

私は長崎県立島原工業高校から、熊本高専制御情報システム工学科に編入学しました。高校で学んだ知識を活かしながら、もっと専門的なことを学びたいと思ったのが編入のきっかけです。

編入学前は、新しい環境になじめるかや、授業についていけるか少し不安でした。ですが、実際に入学してみると、友人や先輩たちが気さくに話しかけてくれたり、分からないことも丁寧に教えてくれたりするので、今では楽しく充実した学校生活を送っています。

また、4月下旬にクラスマッチがあり、スポーツを通してクラスの人々と仲を深める良いきっかけになりました。

将来の進路はまだはっきり決まっていますが、熊本高専で様々な挑戦をして、多くの経験を積み、自分のやりたいことを見つけていきたいと思っています。



学生会より



熊本キャンパス学生会 会長 福島 優芽

新入生の皆さん、入学してから数か月が経ち、学校生活にも少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。改めて、学生会一同、皆さんの入学を心から歓迎します。

新しい環境での生活は、期待だけでなく不安もあったと思います。しかし、その中でたくさんの出会いや発見があり、それぞれ充実した日々を送っていることと思います。これからもさまざまなことに挑戦しながら、たくさんの思い出を作ってください。

学生会では、皆さんが快適に過ごせるように、さまざまな活動に取り組んでいます。今年度もクラスマッチなどの行事を実施してきましたが、これからの

大きなイベントとしては、クリスマスイベントを予定しています。学年やクラスをこえて交流できる機会になるので、ぜひ楽しみにしてください！

また、学校全体では電波祭などの行事も予定されています。行事に参加することで、普段とは違った経験ができると思うので、ぜひ積極的に関わってみてください。

これからの学校生活を思い切り楽しんでください！学生会も、皆さんがより充実した学校生活を送れるようサポートしていきます。



学生会より



(左：原田)

八代キャンパス学生会 会長 原田 虎侑

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。生物化学システム工学科の原田虎侑です。

高専に入学して初めての定期テストはいかがだったでしょうか。これから5年間、テストやレポートなど大変なものと向き合わなければなりません。しかし、僕たちも友達と教えあったり、時には遅くまで課題に取り組んだりしながら乗り越えられたので皆さんもきっと大丈夫です。

また、高専生活には勉強だけではなく、球技大会や高専祭など楽しい行事もたくさんあります。学生会役員も皆さんが楽しく充実した学校生活を送れるよう活動しています。今年の高専祭は楽しみにしてください！長いようで短い高専の5年間でたくさん思い出を作ってくださいね！！

明和寮へようこそ！！

熊本キャンパス明和寮 女子寮長 古嶋 樹



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

そして新入寮生の皆さん！明和寮へようこそ！！

新年度が始まりしばらく経ちましたが、寮生活はどうですか？

最初は親元を離れた生活に不安や寂しさもあったと思います。しかし、最

近では同じ学年同士でお菓子パーティーをしたり、リビングで学年を超えて楽しそうに談笑したりしている姿をよく見かけます。皆さんが笑顔で過ごしている様子は、寮長としてとても嬉しく思います。

皆さんにはこれからの学校生活で色々なことに「挑戦」してほしいです！部活動、コンテスト、国際交流、資格取得、趣味など、自分がやってみたいこと・気になっていることにどんどん挑戦して、いろんな経験をしてください。周りの友達や仲間も巻き込んで、今をたくさん楽しんでほしいと思います。

寮ではバレー&BBQ、寮祭、クリスマス、女子寮のお茶会など、楽しいイベントもあります。ぜひ学年の枠を超えて、たくさんの人と交流してください。

共に暮らす仲間を大切にしながら、これからの寮生活をみんなでめいっぱい楽しんでいきましょう！

寮生会より

八代キャンパス八龍寮 寮長 坂下 煌明



新入生の皆さん、改めてご入学おめでとうございます。そして、八龍寮・夕葉寮で新しい学校生活を迎えた皆さんを心から歓迎します。テストや進級、人間関係など不安な事も多いと思いますが、この寮にはたくさんの同級生や先輩がそばにいます。困ったときは色々な人を頼って有意義な学校生活を送ってください！5年間という時間は長いように思いますが、4年半を過ごした自分は一瞬だと思っています。これから、テスト前日に友達と朝まで勉強したり、一緒に再試を受けたり、就活したり、バイトをしたり、旅行に行ったりと思っている以上に高専生活は濃くて忙しいです。その瞬間一つ一つを楽しんで生活してほしいなと思います。

寮は夏休み明けに部屋替えをし、9月で寮役員の代替わりに続いて、3月に大寮祭にむけて準備を進めていきます。

最後にはなりますが、保護者の皆様におかれましても、お子様のご入学おめでとうございます。お子様の新たな門出にご心配なこともあると思いますが、寮役員一同全力でサポートしていきますので、温かく見守っていただけると幸いです。新入生の皆さんが実りある高専生活を送れることを願い、寮生会代表の挨拶とさせていただきます。

「くまもと KOSEN 未来基金」へのご寄附のお願い



本校では、学生一人ひとりが安心して学び、未来に向けて力を伸ばせる環境づくりに取り組んでいます。

しかしながら、近年の急激な物価の上昇や人件費の高騰により、本校を取り巻く環境は厳しさを増しており、今後も安定した教育研究活動を継続するためには、新たな支援が必要となっております。

こうした状況を踏まえ、本校では寄附を受け入れるための仕組みとして、「くまもと KOSEN 未来基金」を創設し、広く皆様からご支援をお願いすることといたしました。

お寄せいただいたご寄附は、本校の教育研究活動に活かし、学生の学びや成長の支援につなげるとともに、人材育成や地域連携を通じて社会へ還元してまいります。

本基金の趣旨をご理解いただき、学生の修学環境の充実と本校のさらなる発展に向けて、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

1. 基金の目的

本校の全学的な教育研究等の継続的な支援のために使用させていただくものです。

2. 基金による支援内容

皆様から上記の目的を達成するために支援いただいた寄附金を基金として積立て、以下の支援に使用させていただきます。

- (1) 教育研究活動に関する支援
- (2) 産学連携・地域貢献活動に関する支援
- (3) 国際交流活動に関する支援
- (4) 施設・設備整備に関する支援
- (5) 課外活動に関する支援
- (6) 学生の修学等に関する支援
- (7) その他基金の目的達成に沿った支援



3. ご寄附お申込方法

クレジットカード決済、Pay-easy（ネットバンキング）、コンビニ決済からお支払いいただける決済手段がご利用可能です。

- ・個人の方は一口1千円から、法人の方は1万円から寄附ができます
- ・クレジットカード決済：50万円まで
- ・Pay-easy（ネットバンキング）：50万円まで
- ・コンビニ決済：5万円未満

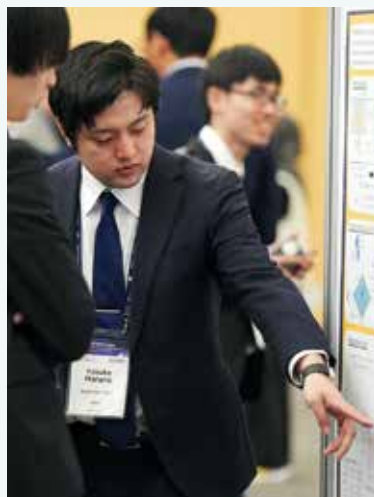
※詳細については、本校 HP でご案内しております。

URL: <https://kumamoto-nct.ac.jp/sponsorship/donation/mirai-kikin/>



教員として着任して

熊本キャンパス 情報工学分野 丸野 陽介



このたび熊本高等専門学校技術職員から教員として着任いたしました。伝統ある本校の教員として加わり、大きな責任を感じるとともに、新しいスタートに心を躍らせております。私が所属する情報工学科は、本年度から実施された学科改組により設置された学科です。前身の人間情報システム工学科に引き続き、情報技術をより深く修得した情報探究系人材を育成するため尽力してまいります。私は、電磁界解析やものづくり技術の教育および研究を行っています。電磁界現象をコンピュータ上でシミュレーションし、実社会へ実装するといった理論と実践を融合させた教育および

研究を展開していきたいと思っています。近年、技術革新のスピードは目覚ましく、社会からの高専教育への期待はこれまで以上に高まっています。教員として、専門知識や確かな技術を伝えるだけでなく、学生たちが自ら課題を見つけ、柔軟な発想で解決していける力を養えるよう、全力でサポートしてまいります。



筆者 GAN (敵対的生成ネットワーク) のすがた

高専に着任して

事務部長 富田 博明



令和8年4月に熊本高等専門学校事務部長として着任いたしました。高専で勤務するのは初めてですが、着任以来、学生の皆さんの明るいあいさつや活気ある学校生活に触れ、毎日新鮮な気持ちで業務に取り組んでいます。

また、教職員の皆さんが学生一人ひとりの成長を大切にしながら教育・研究活動に熱心に取り組まれている姿に接し、熊本高専の大きな魅力を感じています。キャンパスでは、実験やものづくりに真剣に向き合う学生の姿を目にすることが多く、高専教育の素晴らしさを実感しています。

事務部門の役割は、学生や教職員の皆さんが安心して学び、働くことができる環境を整えることです。教育・研究活動を支える立場として、より良い学校運営に努めてまいります。

今後も多くの方々との出会いを大切にしながら、熊本高専のさらなる発展に貢献できるよう力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

転入者等一覧

【学外からの異動】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
林 健司	校長	九州大学 大学院システム情報科学研究所情報エレクトロニクス部門主幹教授	R8.4.1
富田 博明	事務部長	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館管理部研究協力課長	R8.4.1
仲座 秀人	管理課施設管理係長(熊本C)	熊本大学病院事務部経理課主任	R8.4.1
木下 貴博	学務課学務係長(八代C)	有明工業高等専門学校総務課財務係長	R8.4.1
春口 奈穂	総務課主任(研究・社会連携係)(熊本C)	熊本大学総務部総務課主任	R8.4.1
縄田 さら	管理課員(管理係)(熊本C)	熊本大学生命科学系事務部医薬保健学系事務課	R8.4.1
山根 有貴	管理課員(財務係)(八代C)	熊本大学教育研究支援部人社・教育系事務課	R8.4.1
大山 友結	学生課員(教務係)(熊本C)	熊本大学財務部契約課	R8.4.1

【キャンパス間異動】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
松村 悠子	管理課契約係長(八代C)	学生課図書係長(熊本C)	R8.4.1
服部 雅生	学生課国際交流推進係長(熊本C)	学務課学生係長(八代C)	R8.4.1
太田黒恵美	学生課学寮係長(熊本C)	学務課学術情報係長(八代C)	R8.4.1

【新規採用】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
内田 和海	電子情報教育部門知能制御情報工学(CI)分野助教(熊本C)	新規採用	R8.4.1
宮崎 大和	技術教育支援センター技術職員(八代C)	新規採用	R8.4.1
友枝 笑美	管理課事務補佐員(管理係)(熊本C)	新規採用	R8.4.1
坂元奈生子	学生課事務補佐員(国際交流推進係)(熊本C)	新規採用	R8.4.1
有働 奈緒	学生課員(教務係)(熊本C)	新規採用	R8.4.6
福井 宏一	技術教育支援センター技術補佐員(熊本C)	新規採用	R8.5.1
松田ゆき子	学務課学生相談支援員(八代C)	新規採用	R8.5.1

2026 年度新入生を迎えて

情報教育セキュリティセンター長 小島 俊輔



保護者の皆様には、BYODをはじめとした学生の教育環境整備について、多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。新入生の皆さんも、新しい学校生活への期待と不安を抱えながら、日々を過ごしていることと思います。

近年は、スマホによって多くのことが手軽に行える時代となりました。しかし、将来、進学や就職の場面で必要とされるのは、パソコンを適切に活用する力です。キーボードによる正確かつ迅速な入力、Excelを用いた情報整理、PowerPointによる資料作成などは、多くの職場で求められる基本的な技能です。これらは短期間で身につくものではなく、日頃から繰り返し活用することで着実に力になっていきます。ぜひ、新入生の皆さんには、スマホ以上にパソコンを使い倒してほしいと思います。

また、生成AIの活用が急速に広がる中、「自らの学びを深めるために活用する人」と、「単に課題やレポートを作成させるために使う人」とでは、今後、大きな差が生まれることが予想されます。生成AIが示した答えをそのまま受け入れるのではなく、「なぜその答えになるのか」「他の考え方はないか」と、さらに問いを重ねながら活用する姿勢が大切です。

パソコンや生成AIの使い方について、不安や疑問がありましたら、遠慮なく先生方や情報教育セキュリティセンターへ相談してください。皆さんの学びを支える存在として、これからの学校生活を支援してまいります。

国際交流支援室より

国際交流支援室 副室長 福井 由美子

昨今の世界情勢の変化や物価高、ガソリン価格の高騰など、海外渡航に対して不安を感じている人も多いかもしれません。しかし、将来、国際社会で活躍するために、今できる準備と努力を着実に積み重ねることが重要です。状況が不透明な時代だからこそ、自ら学び、視野を広げる姿勢が求められています。

昨年度、海外へ渡航した学生は両キャンパス合わせて268名、そのうち94名が高専機構による海外活動支援金を受給しました。また昨年度は、海外の学生を本校に招聘し、与えられたミッションに協働で取り組むグローバルキャンプを熊本キャンパスで開催し、シンガポールとタイから15名、他高専から11名、本校学生（運営スタッフ・留学生を含む）36名が参加し、貴重な経験を得ました。

国際交流支援室では、例年通り、海外研修プログラムの実施に加え、学内英語キャンプや短期留学生との交流活動、渡航した学生による帰国報告会、海外で活躍する卒業生による講演会など、多様なグローバル学習の機会を計画しています。また、海外の語学学校への渡航支援や、トピタテ留学JAPANへの応募サポート、英語力向上のための各種取り組みなど、学生一人ひとりの挑戦を後押しする支援も充実させています。

環境の変化に左右されず、自らの目標に向かって主体的に行動することが、未来を切り拓く力となります。ぜひ今できる一歩を踏み出してください。



技術教育支援センターより

技術教育支援センター 熊本技術支援グループ長 本 木 実



技術教育支援センターは両キャンパスにあり、各科の実習の支援、卒業研究などで使用する装置の支援、一昨年度から稼働しているファブリケーションラボへの技術支援、構内ネットワーク環境に関する支援など広い技術に対応し、研究や学びをサポートしています。熊本キャンパスには半導体、情報通信、制御、プログラミング等のICT分野に特化した技術

職員、八代キャンパスには機械加工、土木計測、化学・生物分野、ICT分野の技術職員が在籍し、それぞれが高い技術力と経験をもち、日々新しい問題にも対応するよう努めています。機械加工、制御、計測、分析、情報システムといった様々な分野で、当センターで学生の皆さんが技術的な作業をしたり、職員の高い技術力を目の当たりにすることは、技術を身近に感じたり、問題解決の発想がひらめき、そしてそこからものが生まれる喜びを体感する機会となると思います。センターで取り扱う設備には危険を伴う装置もありますが、安全に対する高い意識を持ってテクノロジーを活用できるよう、将来の技術者・指導者としての成長を支援します。職員は親切に相談に乗ってくれますので、研究や学習の中で相談したいことがありましたら、センターの職員や関連する教員に声をかけてください。

KNIT-SPS2025（学生活動発表会）の実施

生物化学システム工学分野 木 原 久 美 子

熊本高専（National Institute of Technology, Kumamoto College）学生活動発表会（Student Project Showcase）はKNIT-SPSと呼称されている年度末の恒例行事です。八代キャンパスにて2026年2月24日（火）に開催し、八代キャンパス1～4年生・5年生や専攻科生の有志および学外学生（熊本キャンパスから多数の参加）・行政（市県国等）・専門家（大学等有識者）・地域・企業・マスコミなど550名以上の学内外からの参加がありました。口頭発表90演題とポスター発表140演題があり、この中から選ばれた演題には各種のアワード（賞）が与えられました。

学生は、リベラルアーツ系やアントレプレナーシップ系の必修科目において、地域・環境に関する多様な課題探索や新たな価値の創造に関する取り組みを行います。この活動を通じて、課題解決には、複数の問題が複雑に絡み合っており答えはひとつ通りではないことや、人とのコミュニケーションは欠かせないものであることを経験します。【課題探究活動】だけでなく、自由研究や課題研究・卒業研究・特別研究などの【研究活動】を発表する場も設けられています。

新入生も全員が年度末にはSPSに参加することになります。日々の活動において様々な取り組みに触れ、先輩方の姿を見て未来の自分を描きながら、毎日を大切に過ごしてもらえたら良いと願います。



着実な一步を踏み出そう

八代キャンパス学生生活支援室長 小 鉢 暢 夫

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生の皆さんも含めて、新年度のスタートをうまく踏み出すことができましたか。ところで登り続ける頂上は見えていますか。ここ最近は目指す先が見えづらくなっているように思えます。昭和生まれの私にとっては、新しい技術がもたらす製品を購入することで生活環境がより快適になっていきました。ある意味、形あるもので豊かさが測れていました。しかし、ITやAIという言葉が使われるようになると、形としてとらえられないネット社会で、比喩的に述べると建設ラッシュが始まりました。今では質問するやいなや知りたいことを教えてください。本当に情報や知識を努力することなく、いとも簡単に入手できるようになりました。それでも、一步を踏み出すことは、誰かがそう言っているからではなく、あくまであなた自身の判断となります。失敗することを恐れていませんか。うまくいかないと負の感情があなたを覆いつくします。それでも「もう止めた」ではなく、更に歩み続けられるように思考と行動を制御しましょう。どうすればこの先に進めるのかと。この行為がいずれ経験と知恵を育み、行き先が見えない社会で着実な一步を踏み出せる原動力になると考えています。高みへと登り続けるとすそ野が広がります。きっと今見ている景色と違う新しい世界と出会えるはずです。迷走しながらでもいいので、これからの高専生活を踏破していってください。

新入生をお迎えして 新たな環境に適応して健康的な生活を送るために

熊本キャンパス 看護師 中 西 博 子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい環境に身を置く今、期待と同時に戸惑いや不安を感じている人も多いことでしょう。生活リズムや人間関係、学び方の変化は、知らず知らずのうちに心身へ負担をかけます。しかし、その揺れは成長の第一歩でもあります。

大切なのは、無理に頑張りすぎず、少しずつ新しい環境に慣れていくことです。うまくいかない時は自分を責めるのではなく、「どうすれば立て直せるか」を考えることが、ストレスに向き合う力、そしてレジリエンスを高めることにつながります。困ったときは一人で抱え込まず、友人や教職員に相談することも大切な選択です。ぜひ、保健室、学生生活支援室をご活用ください。専門スタッフが、お迎えいたします。

また、心身の健康管理も忘れてはいけません。十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動は、毎日の活力の基盤です。新しい出会いや経験を通して、自分らしく成長していけるよう、焦らず一歩ずつ進んでいきましょう。学校全体で皆さんの健やかな歩みをサポートしていきます。

※レジリエンス (resilience) とは、困難な状況や強いストレスに直面した際に、それに負けず「しなやかに適応し、回復する力」のこと。



松本洋平文部科学大臣が熊本キャンパスを訪問されました。

令和8年5月8日(金)、松本洋平文部科学大臣が熊本キャンパスを訪問され、施設視察および学生との意見交換を実施しました。

始めに林校長より本校の概要説明を行った後、意見交換を行いました。

続く学内施設の視察では、専攻科生2名がグリーンルームを案内し、松本大臣は熱心に耳を傾けていました。

その後の学生との意見交換会には、熊本キャンパスの3学科から4名が参加しました。「高専生活は楽しいか」との質問に始まり、高専への進学理由や将来の目標、高専の魅力などについてそれぞれの考えを述べました。AIとの向き合い方や学びの在り方といった踏み込んだ質問もあり、学生にとって貴重な経験となりました。

松本大臣からは「実践的で専門的な教育が実施されている」「学生一人一人が自ら問題意識や課題を持ちながら主体的に勉強に取り組まれているのが印象的だった」「文部科学省としても熊本高専の素晴らしい取組を全国に広げていきたい」との所感をいただきました。



ルネサスエレクトロニクス株式会社および応用電機株式会社とネーミングライツ契約を締結しました。

本校では教育研究環境の向上を目的にネーミングライツ事業を導入しています。このたびルネサスエレクトロニクス株式会社および応用電機株式会社とネーミングライツ契約を締結し、令和8年3月26日(木)、熊本キャンパスにおいてネーミングライツ施設開設記念式典を開催しました。式典では、校長挨拶に続き、両社代表者から未来のエンジニア育成や地域社会への貢献に向けた期待が語られました。

令和8年4月から3年間、ロボコン部の活動拠点である「創作工房(ロボコン室)」は、ルネサスエレクトロニクス株式会社をパートナーとして「RENESAS BASE Re:NOVA」の愛称で運用されます。また、授業や課外活動、会議、イベントなど幅広く利用される「ICTホール」は、応用電機株式会社をパートナーとして「OYO ELECTRIC ホール」の愛称で運用されます。施設には新たな愛称サインやデザインが設置されており、今後、多くの学生や教職員、地域の皆様に親しまれることが期待されます。



台湾・高雄市の高校生が本校を訪問しました。

令和8年6月15日(月)～16日(火)、台湾の高雄市立高雄高級工業職業学校の学生30名と教職員3名が来校され、学生交流を行いました。

15日は八代キャンパスにて歓迎セレモニーを行い、両校の学校紹介後、機械知能システム工学科の研究室や実習工場などを見学いただきました。その後、同学科3年生との交流ワークショップを行い、両校学生の混成班で、限られた枚数の紙で橋を作り強度を競う「ペーパーブリッジ作成対決」に挑戦しました。学生たちは身振り手振りを交えながら協力して作業しました。

16日は熊本キャンパスで研究施設を見学したほか、4クラスに分かれて英語の授業に参加しました。互いの文化紹介やクイズ、紙を使った簡易ヘリコプター作り、紙飛行機作りなどを通じて英語で交流を深め、授業後には八代キャンパスの学生も交えた交流会を実施しました。

今回の交流を通じて、学生たちは学習成果を実践する機会を得るとともに、異文化への視野を広げる貴重な機会となりました。



行事予定 Event Calendar 2026

9月▶3月（令和8年7月現在）

熊本キャンパス

9月

28日(月) 後期授業開始

10月

1日(木) 開校記念日

4日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(鹿児島)

10日(土)～11日(日) 全国高専プロコン(高松)

16日(金)～22日(木) 授業参観、学級懇談会

24日(土)～25日(日) 電波祭

11月

7日(土)～8日(日) 全国高専デザコン(函館)

13日(金)～15日(日) 九州沖縄地区高専体育大会(サッカー)

14日(土)～15日(日) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)

15日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)

24日(火)～30日(月) 後期中間試験

12月

10日(木) 仕事研究セミナー

25日(金)～1月5日(火) 冬季休業

1月

16日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)

20日(水) 特別研究発表会(専攻科)

23日(土)～24日(日) 全国高専英語プレコン(オリセン)

28日(木)～2月3日(水) 後期定期試験

2月

14日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)

24日(水) 卒業研究発表会

3月

1日(月)～2日(火) 冬季クラスマッチ

4日(木)～31日(水) 学年末休業

23日(火) 卒業式・修了式

八代キャンパス

9月

28日(月) 後期授業開始

10月

1日(木) 開校記念日

4日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(鹿児島)

10日(土)～11日(日) 全国高専プロコン(高松)

23日(金)～25日(日) 高専祭

11月

5日(木) 仕事研究セミナー

7日(土)～8日(日) 全国高専デザコン(函館)

13日(金)～15日(日) 九州沖縄地区高専体育大会(サッカー)

14日(土)～15日(日) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)

15日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)

24日(火)～30日(月) 後期中間試験

12月

25日(金)～1月5日(火) 冬季休業

1月

16日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)

20日(水) 特別研究発表会(専攻科)

23日(土)～24日(日) 全国高専英語プレコン(オリセン)

28日(木)～2月3日(水) 後期定期試験

2月

14日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)

18日(木) 卒業研究発表会

24日(水) 球技大会

3月

2日(火)～31日(水) 学年末休業

23日(火) 卒業式・修了式

※行事予定については、変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧（本校公式 Web に掲載）をご確認下さい。

熊本高専だより 2026. SUMMER No.41

【発行】広報戦略室 令和8年8月

編集後記

本号では、学生たちの日常の様子や様々な挑戦をお届けしました。それぞれの努力や成長の姿を、身近に感じていただけましたなら幸いです。発行にあたり、ご協力を賜りましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。今後とも温かいご支援をお願い申し上げますとともに、学生たちのさらなる活躍にご期待ください。



熊本高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2

TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627

TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

